

令和4年度 京都府農地中間管理事業 評価調書

令和5年3月7日(評価委員会)

| 評価項目 | 評価 | コメント |
|--|----------------------------|---|
| <p>1意識改革と組織体制の充実</p> <p>京力農場プラン作成等農業委員会の取組に伴走するとともに、地域計画(目標地図)の作成に向けた市町村、農業委員会の意識づくり、新たな農地中間管理事業より、広域的に担い手への集積・集約を進めるための方策の検討、担い手情報等の収集・提供を行ったか。</p> | <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> | <p>きめ細かく確実な実施をしている。ただ、今後できるだけ工夫やチャレンジもしながらやってほしい。</p> |
| <p>職員体制を充実させるとともに、研修などでスキルアップを図ることができたか。</p> | <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> | <p>人も増やしている成果はでているが、担い手との直接の接触の機会が少ないので、今後はそのような取組に期待したい。</p> |
| <p>2事業の制度周知と実施、細かな相談対応</p> <p>機構は知事が指定した公的機関であり、責任を持って農地を管理し、使用料は確実に支払うなど、安心安全な事業制度であることを農地所有者に訴え、事業に取組んだか。</p> <p>府・市町村と連携し、京力農場プランの作成・見直しの中で、農地をまとめて機構に預けるよう集落に対し働きかけたか。</p> | <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> | <p>制度の変わり目でやめたこともあるが、工夫をして取組を進めてほしい。</p> |
| <p>3機構関連農地整備事業の円滑実施</p> <p>機構関連事業の地域合意に向け、関係機関の一体的連携体制を構築できたか。</p> | <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> | <p>事業推進チームはよい取組である。ただ、要望地区は33地区あるのであれば、動きがある地区にもチームを編成することがあってもよいのではないか。</p> |
| <p>4所有者不明農地・相続未了農地の活用</p> <p>所有者不明農地等を担い手が有効活用する制度の普及、促進が図れたか。</p> | <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> | <p>様々な課題もあり、周知が難しく、地域の実情もあると思うが、他府県の取組事例も参考に進めていただければと思う。</p> |
| <p>5令和5度の取組み</p> <p>4年度の実績結果を踏まえた上で、5年度の実績方針を策定することができたか。</p> | <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> | <p>制度の変わり目の年でもあるので、わかりやすく組織や農家に提示していただければと思う。目標数字も定めてほしい。</p> |
| <p>総合評価</p> | <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> | <p>前年度より100ha集積が増え、引き続き高い目標ではあるが、着実に増やしていることを評価。これまでコロナで停滞していたことも、Withコロナとなるため、今後は積極的に対面での取組を行っていただきたい。</p> |

A: 目標を達成している

B: 目標を概ね達成している

C: 目標どおり出来ていない